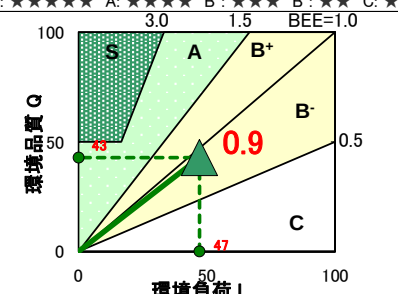
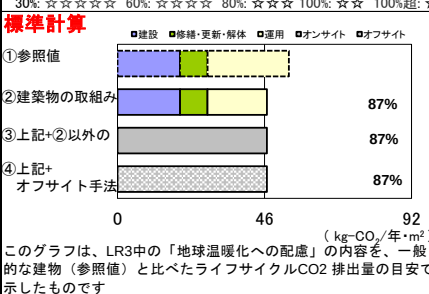


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	株式会社水野鉄工所切削工場新築工事	階数	地上3F	
建設地	名古屋市天白区中砂町361番、他4筆	構造	S造	
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	36人	
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2024年9月9日	
敷地面積	1,271㎡	作成者		
建築面積	871㎡	確認日	2024年9月13日	
延床面積	2,493㎡	確認者		
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)			2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	
BEE=0.9			2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 				
2-4 中項目の評価(バーチャート)			Q のスコア= 2.7	
Q 環境品質			LR のスコア= 3.1	
Q1 室内環境			LR1 エネルギー	
Q1のスコア= 3.0			LR2 資源・マテリアル	
Q2 サービス性能			LR3 敷地外環境	
Q2のスコア= 3.2			Q3 室外環境(敷地内)	
Q3 室外環境(敷地内)			Q3のスコア= 2.1	
Q1のスコア= 3.0			Q2のスコア= 3.2	
Q2のスコア= 3.2			Q3のスコア= 2.1	
Q3のスコア= 2.1			LR1のスコア= 3.4	
LR1 エネルギー			LR2のスコア= 2.6	
LR1のスコア= 3.4			LR3のスコア= 3.1	
LR2 資源・マテリアル			Q3 室外環境(敷地内)	
LR2のスコア= 2.6			Q3のスコア= 2.1	
LR3 敷地外環境			Q3のスコア= 2.1	
LR3のスコア= 3.1			Q3のスコア= 2.1	
3 設計上の配慮事項			Q3 室外環境(敷地内)	
総合			Q3のスコア= 2.1	
その他			Q3のスコア= 2.1	
Q1 室内環境			Q3 室外環境(敷地内)	
Q2 サービス性能			Q3 室外環境(敷地内)	
Q3 室外環境(敷地内)			Q3 室外環境(敷地内)	
LR1 エネルギー			Q3 室外環境(敷地内)	
LR2 資源・マテリアル			Q3 室外環境(敷地内)	
LR3 敷地外環境			Q3 室外環境(敷地内)	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

株式会社水野鉄工所切削工場新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.3
LR1	エネルギー	3.4	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.5	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.12	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.012	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.06	
3. 循環型社会				2.6
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.3



2. 自然共生

評価点 = 1.3



3. 循環型社会

評価点 = 2.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。